

市民参加プロセス計画書：岡崎市工場等建設奨励条例の一部改正

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

本市の製造品出荷額の約8割は、自動車部品関係の製造業や事業者向け製造業（BtoB製造業）です。これらの業種により本市は県内でも高い製造品出荷額を誇る半面、特定の業種の景気によって市の歳入が左右される懸念があります。  
 そのような課題に対し、本市で不足している業種の創出・誘導を図るものとして、岡崎市工場等建設奨励条例の一部を改正し、新たな奨励制度として「（仮称）岡崎市新産業創造推進奨励金」を設け、本市に不足している一般消費者向け製造業（BtoC製造業）に係る工場立地を後押ししようとするものです。これにより、大河ドラマを契機とした「家康印」の製品として全国に岡崎市の名を広められ、市への相当規模の歳入貢献が見込まれる企業を誘致することで、本市のものづくり産業の更なる成長を実現します。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	令和4年1月	事業者アンケート	市内事業者655社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の移転、拡張の意向</li> <li>・必要となる産業用地の条件</li> <li>・岡崎市へ期待する施策</li> </ul>	新たな奨励制度等の必要性や課題等を明確にすること。
構想段階	令和5年6月	岡崎市産業労働計画推進委員会	岡崎市産業労働計画推進委員10名（学識経験者、民間有識者、公募等から選ばれた方々から幅広く意見を求めるため）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の企業立地の現状と事業者アンケートの結果、課題解決への方向性の提案</li> <li>・今後の方向性や現在の施策に対する意見</li> </ul>	本市の企業立地の現状と課題解決へ向けた方向性の共有。
計画段階	令和6年4月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例（案）</li> <li>・条例（案）に対する意見</li> </ul>	条例（案）の内容に対する合意を得る。
実施・運用段階					